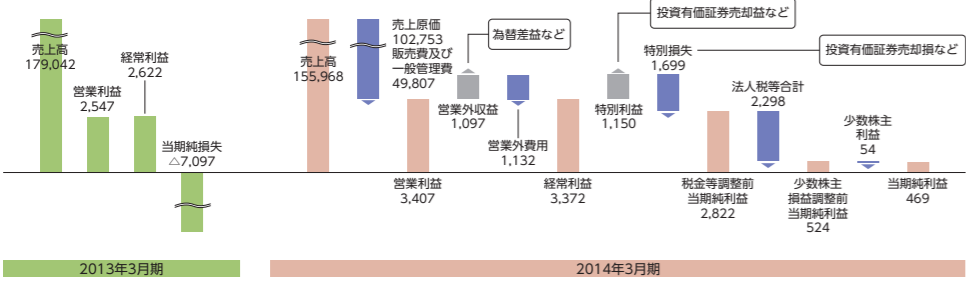
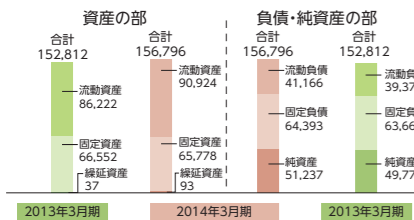


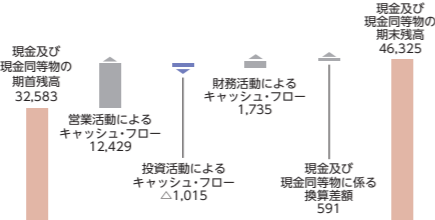
連結損益内訳 (単位: 百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



さらに詳しい情報は、当社HPに決算短信、有価証券報告書などを掲載しておりますので、ご利用ください。タカラトミー投資家情報 <http://www.takaratomy.co.jp/ir/index.html>

株主優待

当社は下記のとおり株主優待を実施いたします。

対象
2014年3月31日現在の当社株主名簿に基づき、100株以上保有の株主様に株主優待品を贈呈いたします。

発送時期
2014年8月下旬を予定しております。

優待内容
100株以上1,000株未満お持ち
いただいている株主様
1,000株以上お持ちいただ
いている株主様

創業90周年を記念して、90年という時代の流れを感じていただける株主優待を企画しました。

A 弊社と同じく90周年を迎えた都営バスを記念して、今年1月に復刻カラーで再現された車両デザインのトミカとザ・バスコレクション*

B 乗車と働くバスガールをイメージしたリカちゃん

*タカラトミーグループの病トミーテックが展開する、身近な交通手段であるバスを全国各地、新旧さまざまな種類からモデル化しているシリーズ。TOMIXで培った鉄道模型のノウハウを注ぎ込んだ造形のシャープさ、行き先表示や塗装・印刷など、随所にこだわっています。
© TOMY
© TOMYTEC
東京都交通局商品化許諾済

株主様割引制度

今年度から、100株以上お持ちいただいている株主様を対象に、タカラトミー公式通販サイト「タカラトミーモール」(<http://takaratomy.jp>)にて当社商品等を最大40%割引でご購入いただけることといたしました。

対象 3月末現在および9月末現在株主名簿記載100株以上保有の株主様

割引率 保有期間に応じ、最大40%

上限 各期間10万円(手数料含む)

公式ショッピングサイト
タカラトミーモール

割引制度の詳細はタカラトミーのホームページ「投資家情報」よりご確認ください。

株主インフォメーション (2014年3月31日現在)

■株式の状況

発行可能株式総数	384,000,000株
発行済株式の総数	96,290,850株
単元株式数	100株
株主数	93,449名

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合	14,443,700	15.34
有限会社トミーインシュアランス	4,619,952	4.91
ティーピージー リッチモント ワン エルピー	4,450,100	4.73
可不動産株式会社	2,945,360	3.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,775,200	2.95
富山幹太郎	2,746,489	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,661,500	2.83
富山華江	1,483,101	1.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	900,000	0.96
家谷佳代子	820,833	0.87

(注) 当社は自己株式を2,159,947株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

●住所変更、配当金受取方法の変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●配当金のお受け取り方法について
配当金のお受け取り方法は、配当金領収証でのお受け取りと口座振込があります。
口座振込ですと支払開始日に入金されるため、迅速、安全、配当金を受け取りに行き手間が省けるなど、大変便利な制度です。
また、配当金は支払開始日から満3年を経過しますと当社は支払義務を免れ、支払いに応じかねますので、確実に配当金をお受け取りいただける口座振込をおすすめいたします。

●単元未満株式(1株~99株)は買増および買取請求ができます
単元未満株式につきましては、買増請求および買取請求を受け付けております。

●未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●「配当金計算書」について
配当金支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、相続特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご利用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。 *確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

●復興特別所得税について
2013年1月1日から2037年12月31日まで復興特別所得税として、所得税額×2.1%が追加課税されることとなります。詳細は国税局のホームページ等をご覧ください。

●特別口座に関するご注意

①特別口座に登録されている株式とは
2009年1月5日の株券電子化移行日までに、株券を証券保管振替機構に預託されなかった株式(例:タンス株券、単元未満登録株式等)が特別口座に登録されております。なお、特別口座には株券電子化移行日までご保有の株券の名義に基づき登録されておりますので、名義書換をお忘れになられていた場合は、株主としての権利を失う恐れがあります。ご不明な点がありましたら三井住友信託銀行株式会社にお問合せください。

②市場で売買するためには
特別口座では市場で株式の売買はできません。
株式を市場で売買するためには、証券会社にご自身の名義で口座を開設し、特別口座に登録された株式を証券会社の口座に振り替える手続きが必要となりますのでご注意ください。

■株式に関する諸手続きのご案内は当社のインターネットホームページでもご覧いただくことができます。内容は順次更新する予定です。(インターネット)<http://www.takaratomy.co.jp/ir/stock/procedures.html>



TAKARA TOMY Business Report

証券コード:7867

2014年3月期(第63期) 株主通信 2013年4月1日▶2014年3月31日

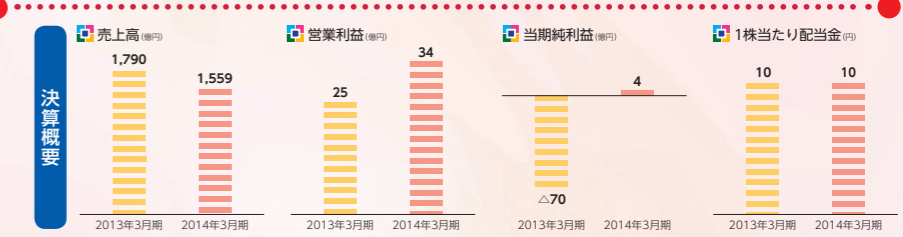
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「トミカ」やトレーディングカードゲームの売上が堅調に推移するとともに、「トランスフォーマー」関連商品の輸出が伸びたほか、アミューズメントマシン「ポケモンレッタ」が引き続き人気を集めました。また、海外事業の中核を担うTOMY Internationalグループでは、日本とのクロスセリングを本格的に展開し、販売シナジーの拡大に取り組みしました。さらに、インドネシアにおいて現地の購買水準と嗜好に対応したオリジナル商品を開発し事業トライアルを開始いたしました。売上高は、中核の玩具事業の強化と経営効率化を図る戦略のプランの一環として、7月に完全子会社トイズユニオン(株)の全株式を譲渡し連結の範囲より除いたことで、同社売上高が前年度比30,773百万円減少した影響などから、155,968百万円(前年度比12.9%減)となりました。利益面につきましては、中国での販売不振や在庫評価減の計上を行ったものの、前年度実施した希望退職募集による人員の適正化、広告宣伝費の圧縮など、販売費及び一般管理費の削減を進め、営業利益3,407百万円(同33.8%増)となりました。経常利益は、営業外収益における為替差益の増加などにより3,372百万円(同28.6%増)となりました。また、投資有価証券売却益など特別利益1,150百万円、中国における一部事業の撤退に伴う費用およびTOMY Internationalグループの事業構造改善費用並びに投資有価証券売却損など特別損失1,699百万円、法人税等合計2,298百万円を計上したことから当期純利益は、469百万円(前年度当期純損失7,097百万円)となりました。



今年、当社は創業90周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

代表取締役社長 富山 幹太郎



「トミカ」におきましては、人気コンテンツとコラボレーションした「ドリームトミカ」シリーズの販売が好調に推移しました。トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」は、新規ユーザー拡大のためのマーケティングが奏功するとともに、「トランスフォーマー」は特に海外向けの輸出が伸びました。また、新商品ラインとして、モバイルメッセージ「LINE」や「ディズニー」の新作アニメーション映画「ブレイズ」の関連商品等、話題のキャラクターやコンテンツと連動した商品を発売し人気を博しました。さらに、動物をテーマにしたギミック付フィギュア「アニア」を新定番シリーズとして発売いたしました。玩具周辺事業では、アミューズメントマシン「ポケモンレッタ」が引き続き好調に推移いたしました。中核の玩具事業の強化および拡大を目的に、7月にTVゲーム関連商材の卸販売を展開していた完全子会社トイズユニオン(株)の全株式を(株)ハピネットに譲渡いたしました。また、1月には(株)タツノプロの株式の一部を日本テレビ放送網(株)に譲渡し、同社を持分法適用関連会社といたしました。売上高は、主に前述のトイズユニオン(株)の株式譲渡による影響から、108,941百万円(前年度比21.1%減)となりましたが、営業利益は販売費及び一般管理費の圧縮などにより7,427百万円(同5.5%増)を計上することができました。

TOMY Internationalグループでは、日本とのクロスセリングを本格化させ、グローバルライセンス契約を締結した「ポケモン」関連商品や日本で好評を博している体感型ロボット「パトロボグ」の販売が拡大いたしました。また、前連結会計年度に「きかんしゃトーマス」関連商品のライセンス使用許諾期間が終了したものの、農耕車両メーカー「John Deere」関連商品やBoon,Inc.およびKeen Distribution, LLCのペビー商品の販売が好調に推移するとともに、円安による為替の影響も加わり、売上高は42,127百万円(前年度比16.7%増)となりました。利益面では、重点商品のマーケティングを強化したことで広告宣伝費が増加するとともに、商標利用権等の償却費として757百万円を計上したことなどにより、営業損失723百万円(前年度営業損失1,637百万円)となりました。

ASEAN諸国におきましては国や地域の購買水準と嗜好に対応する新商品開発を進めており、インドネシアにおいて独自のキャラクター玩具「アニマルホイールズ」を発売し人気を博しました。また、「トミカ」や「アニア」の店頭プロモーションを積極的に展開いたしました。中国事業につきましては、これまで事業の再構築を進めてまいりましたが、同国における厳しい販売状況を踏まえ、安定的に収益を確保できる「トミカ」「アラレール」および「ポケモン」「ディズニー」関連商品の販売に注力し、その他商品の販売から撤退することといたしました。また、グローバル生産調達体制の構築を図るため、香港の生産子会社とTOMY Internationalグループの生産子会社の統合を行いました。これまでTOMY Internationalグループでは同グループの生産子会社を経由せず、直接、生産委託工場に発注しておりましたが、今回統合した生産子会社がグローバル調達センターとしての機能を持ち、生産委託工場へ発注する業務プロセスを共通化したことなどにより、売上高は49,500百万円(前年度比70.9%増)となりました。営業利益については、前述の中国事業での販売不振や在庫評価減の計上により526百万円(同63.6%減)となりました。

新中期経営方針 第四創業における三つの改革

当社はこれまで「時代の変化」とともに「常に変革」し成長してきました。創業90周年を迎え、第四創業期において三つの改革を進めてまいります。

第四創業に必要な三つの改革

- 第一創業: 戦中・戦後 職人魂の製品
- 第二創業: 経済成長 大量開発・生産
- 第三創業: マーケティング マスメディア成長
- 第四創業: 新しいテクノロジー アナログ + デジタル

意識改革

- 短期的改革: 営業強化 開発強化 利益強化
- 中期的改革: 商品→ブランド 地域別戦略 組織一本化
- 長期的改革: White Space 開拓 自社コンテンツ

商品改革: 商品の時代/素材革命 プラスティック成型 輸出拡大

構造改革: 素材の時代/金属・動力 プリキのおもちゃ 輸出依存

情報改革: 情報の時代/大衆情報革命 トイマーケティング展開 情報付加価値商品

パーソナル革命: パーソナル革命 世界展開 ブランドの時代

